

東播電設工業株式会社

2023年度環境経営レポート

(対象期間：2023年9月～2024年8月)



本社事務所

発行日：2024年9月30日

目 次

環境経営方針	-----	2
東播電設工業株式会社実施体制図及び役割・責任・権限表	-----	3
組織の概要	-----	4
認証・登録の対象組織・活動	-----	4
主な環境負荷の実績	-----	4
環境経営目標・実績	-----	5
環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容	-----	6
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	-----	7
代表者による全体の評価と見直し・指示	-----	8

環境経営方針

<環境理念>

弊社は地域に根ざした企業であり、本業である電気設備の設計施工を通じて、地球温暖化問題への取組や地域の環境活動に自主的・積極的に取り組みます。また、環境経営システムの継続的改善を図ってゆきます。

[行動方針]

1. 環境関連法規を遵守し、全社員と共に環境に関する知識を学び、環境保全に対する意識を向上させます。
2. 省エネを推進し、二酸化炭素排出量を低減します。
3. 廃棄物の削減及び再生利用率の向上に努めます。
4. 水使用量の削減に努めます。
5. 環境に配慮した技術提案に努めます。
6. 地域での環境活動に積極的に参加します。

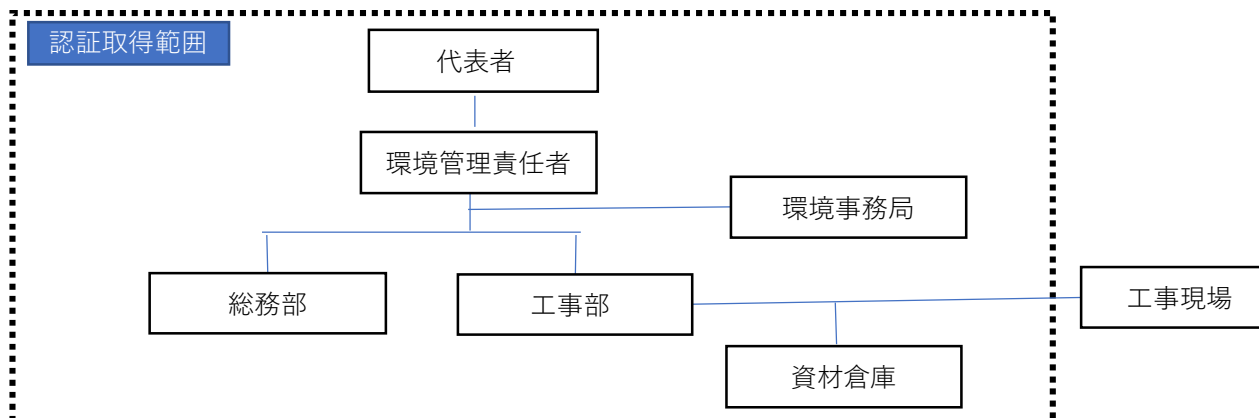
この環境経営方針を全従業員へ周知します。

制定日：2012年9月1日

改定日：2019年9月1日

代表取締役 覚野 成広

東播電設工業株式会社実施体制図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
代表者	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・経営における課題とチャンスの明確化, 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し・指示の実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理、 ・環境関連法規等の取りまとめ票を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境経営の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 ・環境への負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境経営計画の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
総務部	・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成 試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
工事部	・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成 試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境経営活動へ参加

□組織の概要

- (1) 名称及び代表者
東播電設工業株式会社
代表取締役 温井 雅勝 (2024年9月1日就任)
取締役会長 覚野 成広 (2024年9月1日就任)
- (2) 所在地
本社 〒676-0005 兵庫県高砂市荒井町御旅 1 丁目3番14号
資材倉庫 〒676-0005 兵庫県高砂市荒井町御旅 1 丁目5番15号
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 代表取締役 温井 雅勝 TEL : 079-443-5111
担当者 総務部 アリー 真由美
- (4) 事業内容
電気設備の設計・施工・メンテナンス
- (5) 事業の規模
受注額 2.6 億円 (2023年度)
工事件数 436 件
従業員 8名
敷地面積 本社 162m²
資材倉庫 1,449m²
- (6) 事業年度 9月～翌年8月

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 東播電設工業株式会社
事業所： 本社及び資材倉庫
活動： 電気設備の設計・施工・メンテナンス

□主な環境負荷の実績

項 目	単位	2017年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	26,084	17,748	18,624	17,139	17,416
電 力 化石燃料 ガソリン 軽 油	kg-CO ₂	8,187	6,521	6,449	6,365	6,792
	kWh	16,607	13,227	13,082	12,910	13,778
	kg-CO ₂	17,897	11,227	12,175	10,774	10,624
	ℓ	4,933	3,109	3,216	2,878	2,702
	ℓ	2,501	1,556	1,827	1,588	1,688
廃棄物排出量	kg	3,432	3,684	2,128	4,218	5,418
一般廃棄物量排出	kg	52	44	48	48	48
産業廃棄物排出量	kg	3,380	3,640	2,080	4,170	5,370
水使用量	m ³	103	45	39	39	45

(注) 電力の二酸化炭素排出係数：0.493kg-CO₂/kWh

関西電力(株) 2017年12月公表値(調整後排出係数)を適用

産業廃棄物排出量： 混合廃棄物のみ

化学物質は微量(1kg未満)のため表示せず

□環境経営目標・実績

(1) 中期計画

年 度		基準値 2017年度 実績	2022年度 (目標)	2023年度 (目標)	2024年度 (目標)	2025年度 (目標)
項 目	kg-CO ₂ kWh	8,187	7,369	7,205	7,041	6,877
	基準年度比	16,607	14,946	14,614	14,282	13,950
※1 CO ₂ 換算係数0.493			90%	88%	86%	84%
自動車燃料の二酸化炭素排出量削減	kg-CO ₂	17,897	16,107	15,749	15,392	15,034
	ガソリンℓ	4,933	4,440	4,341	4,242	4,144
	軽油 ℓ	2,501	2,251	2,201	2,151	2,101
	基準年度比		90%	88%	86%	84%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	26,084	23,476	22,954	22,433	21,911
一般廃棄物の削減	kg	52	52	52	52	52
	基準年度比		100%	100%	100%	100%
産業廃棄物（混合廃棄物）の削減	kg	3,380	3,177	3,110	3,110	3,110
	基準年度比		94%	92%	92%	92%
水使用量の削減	m ³	42	93	41	40	39
	基準年度比	2019-22の平均	2017年基準	98%	96%	94%
防災・老朽インフラ・エネルギー事業の受注	受注件数	1件	3件	3件	3件	3件
環境に配慮した技術提案 ※2	受注件数	12件	5件	5件	5件	5件
社会貢献（地域清掃活動への参加	参加回数	5回	5回	5回	5回	5回

注：化学物質は微量のため環境目標を設定しないが、適正管理を行う

※1 電力のCO₂換算係数は関西電力㈱2017年12月公表値（調整後排出係数）を適用

※2 環境に配慮した技術提案は2017年度は照明のLED化が集中したが今後は落ち着いてくるものと考えて目標値を設定

(2) 2023年度実績(2023年9月～2024年8月)

項 目		年 度	基準値 (2017年度 の実績)	2023年度		達成度	評価
				(9月～翌年8月)			
				(目標)	(実績)		
電力の二酸化炭素排出量削減	kg-CO ₂	8,187	7,205	6,792	106%	○	
	kWh	16,607	14,614	13,778			
	CO ₂ 換算係数0.493	基準値比	88%	83%			
自動車燃料の二酸化炭素排出量削減	kg-CO ₂	17,897	15,749	10,624	148%	○	
	ガソリンℓ	4,933	4,341	2,702	161%		
	軽油 ℓ	2,501	2,201	1,688	130%		
	基準値比	88%	59%				
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	26,084	22,954	17,416	132%	○	
			88%	67%			
一般廃棄物の削減	kg	52	52	48	108%	○	
	基準値比		100%	92%			
産業廃棄物（混合廃棄物）の削減	kg	3,380	3,110	5,370	58%	×	
	基準値比		92%	159%			
水使用量の削減	m ³	42	41	45	91%	×	
	基準年比	2019-22の平均	98%	107%			
防災・老朽インフラ・エネルギー事業の受注	受注件数	1件	3件	1件	33%	×	
環境に配慮した技術提案	受注件数	12件	5件	43件	860%	○	
社会貢献（地域清掃活動への参加	参加回数	5回	5回	3回	60%	×	

〔凡例〕 ○：達成(100%以上)、△：やや未達成(95%以上～100%未満)、×：未達成(95%未満)

□環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

〔凡例〕 ○：達成(100%以上)、△：やや未達成(95%以上～100%未満)、×：未達成(95%未満)

取り組み計画		達成状況	継続／変更	評価と次年度の取り組み内容
二酸化炭素総排出量削減				
数値目標	22,954 kg-CO ₂	○	☐ 上方修正 ☐ 下方修正 ☐ 基準見直 ☒ 変更なし	電力使用量、自動車燃料使用量ともに目標値を達成した。次年度は計画通り取り組む
			継続	
電力の二酸化炭素排出量削減				
数値目標	7,205 kg-CO ₂	○	☐ 上方修正 ☐ 下方修正 ☐ 基準見直 ☒ 変更なし	空調温度設定の適正化、不要な照明の消灯等電力の削減に努め、目標値を達成した。 次年度は計画通り取り組む
・空調温度設定の適正化		○	継続	
・不要な照明の消灯		○	継続	
・照明器具の定期的な清掃、交換		○	継続	
・夜間・休日のパソコン・プリンターの電源OFF		○	継続	
自動車燃料の二酸化炭素排出量削減				
数値目標	15,749 kg-CO ₂	○	☐ 上方修正 ☐ 下方修正 ☐ 基準見直 ☒ 変更なし	車両が効率よく運用でき、ガソリン車、軽油車共に目標値を達成できた。 次年度は計画通り取り組む
・エコ運転の実施		○	継続	
・適正なルートを選択		○	継続	
・不要な荷物をおろす		○	継続	
・タイヤの空気圧を適正にする		○	継続	
・アイドリングストップ		○	継続	
一般廃棄物の削減				
数値目標	52 kg	○	☐ 上方修正 ☐ 下方修正 ☐ 基準見直 ☒ 変更なし	年間を通して通常通りの発生量で目標達成できた。今後とも一般廃棄物の削減に努める
・月別排出量の計測		○	継続	
・コピー機使用時の設定・リセットの確認		○	継続	
産業廃棄物(混合廃棄物)の削減				
数値目標	3,110 kg	×	☐ 上方修正 ☐ 下方修正 ☐ 基準見直 ☒ 変更なし	混合廃棄物の分別に努めたが排出量が増加した。工事量の増減、工事内容により混合廃棄物の量は増減するが、継続して分別に努める
・工事現場での分別の徹底		○	継続	
・残余資材の発生防止と発生残材の再利用		○	継続	
水使用量				
数値目標	41 m ³	×	☐ 上方修正 ☐ 下方修正 ☐ 基準見直 ☒ 変更なし	ほぼ安定した使用量であったが年間を通じて4 m ³ 増加した。今後も定期的に漏水チェックを継続する。
・バルブ調整による水量・水圧の調整		○	継続	
・漏水の定期点検を実施する		○	継続	
防災、老朽インフラ、エネルギー事業の受注				
数値目標	3件 (受注件数)	×	☐ 上方修正 ☐ 下方修正 ☐ 基準見直 ☒ 変更なし	引き合い3件中受注は1件にとどまった
・老朽インフラの更新計画提案		○	継続	
環境に配慮した技術提案				
数値目標	5件 (受注件数)	○	☐ 上方修正 ☐ 下方修正 ☐ 基準見直 ☒ 変更なし	期間中、LED照明、エアコンに的を絞って取り組んだ結果大幅増の受注となった
・エアコン更新の提案		○	継続	
・照明のLED化他の提案		○	継続	
社会貢献（地域清掃活動への参加）				
数値目標	5回	×	☐ 上方修正 ☐ 下方修正 ☐ 基準見直 ☒ 変更なし	年末の地域、会社周辺の清掃が諸事情でできなかった。年間目標通り清掃活動を実施できるよう努力する。
・会社周辺の清掃	2回	×	継続	
・町内会一斉清掃	2回	×	継続	
・電業協会東播地区一斉奉仕作業	1回	○	継続	

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	遵守すべき事項	遵守評価
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の適正処理 収集運搬・処分業者等の適正な契約 マニフェスト管理	遵守
騒音規制法	特定建設作業実施届出、騒音規制基準(85 d B 以下)	遵守
振動規制法	特定建設作業実施届出、振動規制基準(75 d B 以下)	遵守
フロン排出抑制法	エアコン、冷蔵・冷凍機器等廃棄時のフロン回収・破壊引取 証明書による確認、回収業者への適正な引渡し。フロン類使 用機器の定期点検と記録及び漏洩防止	遵守
自動車NOx・PM法	車種による排出基準の確認と処置対応（対象：協力会社 の持込車両・クレーン等）	遵守
家電リサイクル法	エアコン・テレビ・冷蔵、冷凍庫・洗濯機、衣類乾燥機 の廃棄時管理票の交付	遵守
消防法	危険物保管指定数量1/5以上の届出 消火器等の点検・記録	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありませんでした。

環境活動実施状況

消火訓練

2024年7月20日

訓練用水消火器を使用



地域清掃

2024年7月20日



□代表者による全体の評価と見直し・指示

エコアクション21に取組み、社員一人一人に省エネの関心が定着して、節電やエコ運転に努めています。

産業廃棄物（混合廃棄物）は、大型工事の増加により排出量は増大した。今後共、分別を継続して削減に努めます。

節水については、各月の使用量ほぼ計画通りであるが通期では目標値を上回った。

防災・老朽インフラ・エネルギー事業の受注は1件の受注ができた。

環境に配慮した技術提案はLED照明とエアコンの更新提案を続けた結果目標を大幅に上回る受注ができました

今後も環境活動を継続することにより社員から会社・お客様へ積極的な提案ができ、目標が達成できるよう取り組んでいきます。

環境経営方針・環境経営目標・環境経営計画及び実施体制は事業活動に大きな変化がないため、変更せずに進めていきます。

(9月1日に代表取締役が交代しましたので評価と見直し・指示は新代表取締役が行いました)

2024年9月20日

代表取締役 温井 雅勝